

平成21年度

学校経営計画 最終評価  
(スクールマネジメントプラン)

平成22年3月26日

京都府立嵯峨野高等学校

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>「学校力」を向上させ、府民から信頼される学校づくりを行う。</p> <p>すべてにおいて、安全・安心の学校づくりを行う。</p> <p>「Sagano Dynamics」を推進する学校づくりを行う。</p> <div data-bbox="249 778 771 948" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>Sagano Dynamics</b> : the way in which things or people behave and react to each other</p> </div>	<p>Sagano Dynamics の具現化を目指して「学力向上フロンティア校」、「SPP」の各種指定事業を推進し、新たに「サイエンスレクチャーシリーズ」の取組を行うなど、普通科、京都こすもす科のそれぞれにおいて特色ある教育活動を展開できた。目的意識のある入学希望者を増やすため積極的に広報活動を行った結果、推薦入学者選抜の出願者数は過去最高となった。</p> <p>「授業力の向上」を目標に掲げ、年2回の生徒による授業アンケートや授業公開週間を実施し、授業の工夫・改善に積極的に取り組んだ。また、学習記録表の指導や週末課題の提示や点検等、きめ細かな指導を行い学習意欲の喚起と学習習慣の確立を図った。</p> <p>一方、「与えられた課題をやり切らせる」という点では課題が残った。授業・放課後・家庭での学習サイクルを一層機能させるため各教科間で連携をとり、学習課題の精選と量の調整に取り組まなければならない。</p> <p>進路検討会や教科担当者会議を機能させ、全生徒の把握と指導方法を検討し情報の共有化を図るとともに、充実した進路ガイダンスや面談をとおして生徒の進路意識を高揚させた。今後、難関国公立大学をはじめとした生徒の第一希望実現のため低学年次の進路指導の重要性を確認するとともにさらなる指導方法の工夫改善を図る必要がある。</p> <p>礼節ある態度の育成と規範意識の涵養については、継続的な指導により一定の成果をあげているが、さらなる指導の徹底が必要である。特に雨天時の傘さし運転等、自転車のマナーについては改善の余地がある。</p> <p>安全で快適な教育活動が行えるよう、施設・設備を常に点検するとともに年間を通じた清掃活動計画のもとに、全教職員・全生徒で学校全体の美化に取り組んだ。節電・節水等の意識が不十分であるなど環境問題への意識が希薄な面も見られるため、環境問題に対する意識の向上を図る取組が必要である。</p>	<p>正しいルール・マナーの徹底と基本的生活習慣の確立</p> <p>校内環境美化の徹底と、環境改善の意識定着・実践</p> <p>学習のトライアングルの徹底と、確かな学力の定着・向上</p> <p>計画的な進路指導の徹底と、生徒の第一希望進路の実現</p>